

3-11 Hoshigadai, Tajimi City, Gifu Pref., 507-0811 JAPAN
 TEL. +81-572-22-5381 / FAX. +81-572-25-1163
 URL: <http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>
 Mail: info@ceram.rd.pref.gifu.jp

Gifu Prefectural Ceramics Research Institute
岐阜県セラミックス研究所
 since 1911 TM

重要！消費税法改正に伴う手数料および使用料改定のお知らせ

岐阜県セラミックス研究所では令和元年10月1日からの消費税法改正に伴い、依頼試験手数料および無機材料開放試験室設置機器使用料の料金を改正しました。

※改正後の手数料および使用料は以下の通りになりますのでご注意ください。

なお、ご不明な点がございましたら、**お問合せ**または**当所のホームページ**をご確認ください。

依頼試験手数料

令和元年10月1日現在

区分	依頼試験等の区分	単価	備考	区分	依頼試験等の区分	単価	備考
定性	簡単(酸)(アルカリ)	1,900	各1,870円	窯	耐火度	8,900	(SK26~36)
	複雑(重元素)	4,010	真空中で蒸発するものと		熱衝撃 1000度以下	3,760	50mm長×5mm角の角棒1ヶ
定量	〃(軽元素)	4,010	液体は出来ない	窯	〃1000度を超えて1300度まで	5,160	
	簡単(水分)	2,200			焼成 5KW以下	5,050	
元素分析	複雑(化学分析)	4,460	粉末5g	窯	焼成 5KW超	10,220	
	P・H	1,170			焼成 高温炉	39,090	
物理	真比重	3,070		窯	素地調整	8,520	
	灼熱減量	2,930	ig.Loss		高温耐容器の溶出試験(陶器検査機)	3,670	(耐酸)
化学	粒度分布	5,380	(レーザー回折法)	窯	陶磁器管等の溶出試験(タイル)	7,690	(耐酸)
	熱伝導率	4,570			弾性率	4,460	
試験	光学顕微鏡観察	2,070		試験	衝撃試験	2,210	
	電子顕微鏡観察	5,400			窒素吸着法による比表面積測定	4,640	
試験	熱特性	5,910	(DTA-TG, DSC)	試験	窒素吸着法による細孔分布	6,580	
	X線回折	6,740			水銀圧入法による細孔分布	17,540	
試験	測色	3,070	反射率曲線測定	試験	応用試験(簡単なもの)	2,790	
	X線マイクロアナライザー	6,880			応用試験(複雑なもの)	7,540	
試験	〃 加算額	3,230		試験	簡単	1,730	(摩耗・熱膨張のカット代)
	放射線測定 簡単	18,300					
	放射線検査	1,240					

区分	単価	使用料(円)	区分	単価	使用料(円)
急冷(500度以下)	2,540	サンプル1ヶ(スパーリング)	料調整	3,690	[塗コーティング・曲げのカット代]
オートクレーブ	2,930	サンプル タイル3ヶ 食器1ヶ			
凍結融解 マイナス20度	3,930	試験回数×3,860円	極めて簡単	4,800	
〃-20度を超えて-65度まで	4,380	試験回数×4,300円	簡単	8,350	
曲げ	3,070	サンプル タイル5ヶ	平均的	16,700	
圧縮	3,070	サンプル並形 レンガ1/2T 2ヶ	複雑又は構造的調整	26,190	
吸水率(浸漬法)	2,470	サンプル 5枚(タイル)	極めて複雑	36,740	
吸水率(真空法)	3,490	サンプル 5枚(タイル)	複文	470	
気孔率	3,830	サンプル並形 レンガ1/2T 2ヶ	英文	470	
比重(嵩・見掛)	3,830	〃			

無機材料開放試験室設置機器使用料金表

区分	単位	使用料(円)	区分	単位	使用料(円)
供試体プレス成形機	1時間につき	100	フレット	1時間につき	100
ロールクラッシャー	1時間につき	100	ボールミル	1時間につき	100
真空土練機	1時間につき	120	光学顕微鏡	1時間につき	200
ダイヤモンドカッター	1時間につき	410	曲げ試験機	1時間につき	100
硬度計	1時間につき	100	フィルタープレス	1時間につき	580
マイクロ波ガス複合炉	1時間につき	1670	機械ロクロ	1時間につき	570
ジョークラッシャー	1時間につき	100			

■ 新しく導入した設備のご紹介

当所では、新しく窒素雰囲気中で焼成可能な電気炉を導入いたしました。最高(常用)温度1000℃までの焼成が可能です。窒素雰囲気での焼成テストなどをお考えの際はご相談ください。

主な電気炉の仕様

メーカー・型番	株式会社 モトヤマ・SKM-3050F
炉内寸法	200×200×470
最高・常用温度	1000℃
雰囲気	窒素・大気
ヒーター容量	6 kW



■ 「研究成果発表会」を開催しました

令和元年6月17日（月）に、セラミックパークMINO イベントホールにて「平成30年度研究成果発表会」を開催いたしました。

平成30年度に実施した様々な研究成果について報告するとともに、ぎふ技術革新センター運営協議会と共催にて「セラミックス製造工程における環境負荷低減技術およびその材料開発」（株式会社ノリタケカンパニーリミテド 左合 澄人氏）をテーマに基調講演を行いました。



基調講演では、食器に関する環境対策（無鉛化の取組）や多孔質材料を用いたマイクロナノバブルの発生方法とその活用事例について解説されました。

また、「紫外線硬化樹脂を用いたセラミックス固化技術の開発」など、昨年度の研究成果について口頭発表5件・ポスター発表4件を行いました。



■ 「夏休み親子体験教室」を開催しました

精炔器研究会と当所の共催で令和元年8月4日（日）に、小学生とその保護者を対象とした「夏休み親子体験教室～精炔器をつくろう！～」を当所にて開催いたしました。

精炔器研究会 曾根会長から精炔器のこれまでの歩みや基本的な加飾技法について実演を交えながら解説いただいたのち、参加者は見本を参考にしてお茶碗とお皿へのデザインを考えました。下書きしたデザインを参考に、精器研究会のスタッフがサポートして、素地にデザインを施しました。



後日、施釉と焼成を行い、個性あふれる作品が完成しました。出来上がった作品に、ご参加いただいた皆様は大変ご満足して、お持ち帰りいただきました。

